

# りんくう

# ウェルネスケア 研究センター



センター長の増田大作でございます！

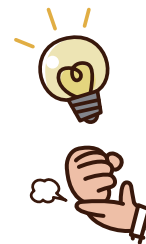
Rinku  
Innovation  
Center for  
Wellness Care and  
Activities



NHK『ガッテン!』に  
出演しました！

1999年大阪大学を卒業し、その後一貫して循環器内科学、動脈硬化学、特にその背景となる脂質代謝異常の原因究明と治療の発展に努力してきました。この分野で大事なものの一つに健康診断や外来においていわゆる「一次予防」一度も脳心血管疾患を起こしていない人が今後起こさないように予防する「が」挙げられますが、現在のシステムは必ずしも十分ではありません。

これを改革したく、やってみよう！医療の現場のみならず、広く社会にお役に立てるよう活躍したいと思えます（昨年、この脂質異常の啓発も兼ねてNHK『ガッテン!』にも出演しました！）。



## ■ りんくうウェルネスケア研究センターの3つの柱 ■

当センターは従来の診療ごとの役割とは違う観点から、研究マインドをもってりんくうおよびこの泉南地域の特色を活かした事業を多彩に進めていきたいと思えます。この名称に含まれる3つの単語、「Wellnessウェルネス」「Careケア」「Activityアクティビティ」を3本の柱としています。

- ① Wellness ウェルネス
- ② Care ケア
- ③ Activity アクティビティ

### ①生涯リスクを知り健康を維持するウェルネス

人は寿命を延ばすことだけが人生の目的ではありません。健康でかつ安心な状態であることが望まれますが、この状態をウェルネスといえます。健康診断を受けることにより現在健康かどうかは判明しますが、その結果から将来を予測することは難しいと言われています。しかし将来起こる疾患が予測できるなら、よりウェルネスを向上させられると思われれます。当センターでは健康診断を通じて生涯リスクを予測できるような検討を進め受診率の向上に務め、病気を起こす前の状態（「未病」と言います）の発見や改善につながる生活習慣への介入を行い、現在この地域の方々さらにはこの国のウェルネスをさらに深めたいと思っています。

### ②多職種かつ施設間で連携して疾患と闘うケア

我が国においては多くの医療機関があり様々な業態があります。地域連携においてスムーズな情報提供がなされているとは言えない状況です。また、医療の中においても医師だけではなく事務職やメディカルスタッフ（看護師・栄養士・臨床検査技師・保健師・放射線技師・介護施設者など）が多く活躍していますが、その連携にはまだまだ工夫が必要です。患者さんとともに疾患と戦う医療者として、いずれの「連携」も極めて重要でありその滑らかなが必要で、そこで、これら医療者間の連携を、負担を増やさずにスムーズにする手法について検討を行い、地域における医療の効率化を考えていきたいと思っています。

### ③地域の活性化や医療者の活躍のための働き方 アクティビティ

医療業界のみならず、長時間労働や負担の多い仕事が多いため、仕事を妨げ、医療者が活躍できる状態から離れる事態に陥りやすくなっており、業務改善が強く求められます。また、地域の人口減や営業力の低下など過疎化の進行も大きな問題です。しかし、医療者や地域住人がしっかりと活躍できるような状況を作り出していけるのであれば、もっとアクティビティの活力は向上して

## RICWAからのご案内

われらRICWAの概念に賛同いただける方のご連絡をお待ちしております。以下のような内容をお持ちの方、関連している方はぜひご連絡ください。

- 1 健康診断、ウェルネス増進につながる検査・栄養(サプリメント)・運動など
- 2 医療の中で用いられる連携ツールや紹介状などの書類作成を効率化できるものをお持ちの方、あるいはそのアイデアをお持ちの先生方
- 3 地域における特産物やツールで健康増進につながると考えられるもの
- 4 国際医療・インバウンドに関連したもの
- 5 その他、これからのウェルネスや医療にかかわるもの

いくと思われれます。「ウェルネス・ケア」を中心とした地域健康管理や健康事業を増進していくため様々な提言をしていくことによりもっとアクティビティの向上する状態にしたいと思えます。

「ウェルネス」「ケア」「アクティビティ」をキーワードに、得られた結果を地域に提供し、「りんくうウェルネスケア」の価値を創出することにより、この地域の「特色」として我が国のモデルとなるよう進めていきたいと思えます。

2018年  
4月より

## 患者サポートセンターがオープンしました

安心を届けるサポートセンター  
～入院前から退院後も一人ひとりを支えます～



2018年4月から、当院2階正面玄関横に「患者サポートセンター」がオープンしました。

医師・看護師・メディカルソーシャルワーカー・理学療法士・薬剤師・栄養士・事務職員などの多職種のスタッフが集い、地域の医療機関からの紹介窓口や入院前の支援だけでなく、幅広い医療サービスの提供に努めております。

### おもな業務内容

- 前方連携 (地域医療機関からの紹介患者様の受け入れ窓口)
- 入院前管理センター機能 (入院決定時からの環境調整・術前管理)
- 後方連携 (退院支援を中心とした近隣施設との連携・調整)
- 退院後訪問活動 (地域関係機関への技術移行も含めた退院後支援)
- ベッドコントロール (予定・緊急の入退院のマネジメント)
- 受診調整・トリアージ機能 (適切な診療提供の調整)

### “安心を届けるサポートセンター ～入院前から退院後も一人ひとりを支えます～”

をスローガンに、当院での入院が決定したときから退院後の療養生活を見据えて、病状や生活環境等をうかがい、安心してご自宅で療養生活を送っていただけるように支援いたします。また、他病院への転院が必要な場合には、皆様の意向をうかがいながら病院探しのお手伝いもいたします。これら以外にも様々な活動をしております。

■入院や手術に関する不安や悩み、聞きそびれたことなど  
何でもご相談をお受けいたします。お気軽にスタッフにお尋ねください。

